



伊野小学校

◆地域の施設で交流

3年生が12月2日に地域の施設「あいの」でお年寄りの方々との交流をしました。3年生から人権の花や歌、演奏、似顔絵のプレゼントをしました。3年生の歌や演奏に体を動かしてリズムをとっている方や感動して涙を流されている方もおられました。

またお年寄りの方に「好きな食べ物は何ですか」「お歳はいくつですか」「お孫さんはいますか」などとお話をしながら楽しく似顔絵を書きました。書き終わって似顔絵をプレゼントすると「まあ似いちゅうね」「大切に部屋に飾っておくよ」と



言われ3年生も嬉しそうでした。お互いの心が通い合う有意義な交流となりました。

◆地域の方と昔遊びで交流

1年生が2月10日に地域の方々17名と昔遊びで交流しました。昔遊びは、メンコ、コマまわし、おはじき、お手玉、けん玉、竹とんぼ、羽子板など、11種類でした。子どもたちの遊びはゲーム機が中心となつていますが、地域の方々に遊び方を教えていただいた後は、目を輝かせながら遊んでいました。

子どもたちからは、「とても楽しかった」や「初めてしたけど難しかった」「またやりたいな」などの感想があり、地域の方々と楽しいひとときを過ごしました。また、昔遊



びは手作りの物ばかり、人の温かさも感じたと思います。

伊野中学校

◆親子で防災学習

PTA行事の1つに各学年で企画した取組があり、1年部では役員さんが中心になり計画を立て、11月3日に「親子で防災・命の学習」を行いました。

当日は天候にも恵まれ、保護者、生徒合わせて110名の参加者があり、予定していたドクターヘリコプターも高知医療センターからやってきてくれました。そのヘリコプターに同乗していたドクター（高知医療センター救命救急センター長）の喜多村先生から、東日本大震災の体験談や地震が起こったときにできることについての講演を聞きました。また、今後高知県に必ず起こる「南海トラフ地震」に備えて、今できる備えについてなどのお話も聞き、大変参考になり、親子で防災に対する意識が高まりました。

また、仁淀消防組合消防署員の皆さんにも協力していただき、「救急法」や火事を想定しての「けむり体験」など、教室を使って親子で防災学習を体験しました。保存食も家に持ち帰って食べました。

本校でも年3回全校で地震・火災避難訓練を行い、各学年では数時間の防災学習を深めており、子どもたちがいかなる状況でも「自らの命を守りきる」を身に付けることができるとともに、この学習を通してより強く思いました。

